

中学生 政策決定参画プロジェクト

都内の中学生12名が、「中学生にビジネスや起業に親しみをもってもらう～挑戦者を生み出す東京へ～」をテーマに、約4か月にわたり議論しました

STEP 01

■ オリエンテーション（2025年5月11日）

- メンバーは自己紹介を行い、和やかな雰囲気の中でテーマ説明を受け、起業家精神（アントレプレナーシップ）について活発な議論を交わしました

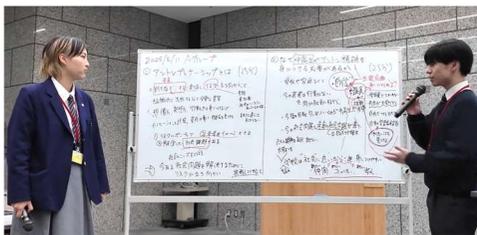
❖ アントレプレナーシップとは何か

- 今ある社会問題を解決するためにリスクに立ち向かい、挑戦し続けること
- 創造と想像を武器に、より良い社会のために挑戦し続ける精神



❖ なぜ中学生がアントレ精神を身につける必要があるのか

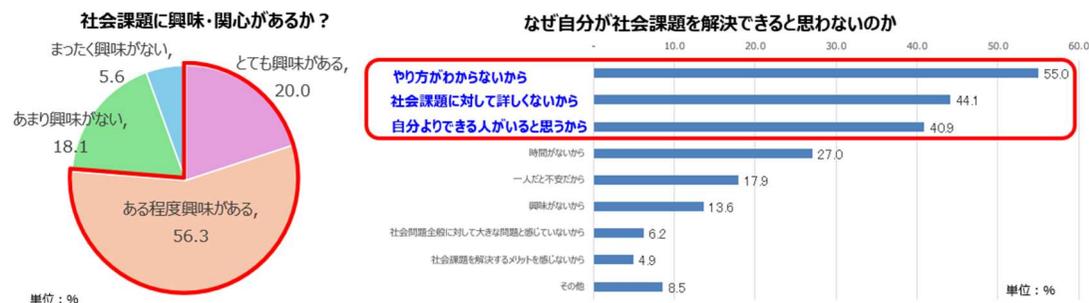
- 未来の社会課題を解決するのは自分たちであるから、今からアントレ精神を身につけておく必要がある
- 社会問題に対して無関心な中学生にまずは関心をもってもらう、社会問題を自分事として考えてもらう必要がある



STEP 02

■ グループワーク（2025年6月～7月〈5回〉）

- 中学生へのSNS調査や同級生へのインタビューを通じて明らかになった課題や、フィールドワークで得た気づきなどを基に議論を重ね、政策案を練り上げました



- ❖ 社会課題に関心がある層とない層があり、一律のアプローチができない
- ❖ 社会課題を解決するやり方がわからない

■ フィールドワーク（2025年6月15日）



- 都のスタートアップ支援拠点TIB（Tokyo Innovation Base）を訪問し、起業プログラムを体験しました
- また、ITAMAEMEMBERへのインタビューを行いました

- ❖ 参加者に大学生が多く、中学生が参加しづらい
- ❖ 中学生の早い段階でアントレを学ぶことが大事

【政策の方向性】

- 中学生が学ぶアントレプレナーシップ育成プログラム
- 個人の習熟度（ステージ）に応じたアプローチを用意



社会課題の解決に向けて、革新的なアイデアを生み出す若者を増やすため、アントレプレナーシップを身に付ける必要があるとし、議論を重ね、知事へ政策提案しました

STEP 03

■ 中間報告会（2025年8月5日）

- 東京都の幹部職員へ、検討中の政策案を発表し、意見交換を行いました

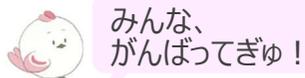


【都幹部職員からのフィードバック】

- ❖ これまでの体験などを踏まえて、**中高生のリアルな声を知事に伝えてほしい**
- ❖ 世代交代しても、**中高生が継続的に関わることのできる仕組み**を考えてほしい

■ グループワーク （2025年8月〈3回〉）

- 中間報告会の内容を踏まえ、政策案をブラッシュアップしました



みんな、
がんばってぎゅ！



STEP 04

■ 知事への政策提案（2025年8月28日）

- これまで議論を重ねてきた集大成として、知事へ政策提案を行いました



【政策提案】中高生が生み出す、「アントレプレナーシップ育成計画」

- ❖ 個人の習熟度（ステージ）に応じた、一人ひとりに寄り添ったアプローチを用意
- ❖ 中高生が主体となって運営する、多忙な中高生も勉強や部活動と両立できるプログラム
- ❖ 中高生自身が活動の成果を発信することで、アントレの波を広げていく



政策への反映

提案内容は、スタートアップ戦略推進本部において、「**中高生アントレプレナーシップ実践事業**」として、令和8年度予算案に反映しました

参加者の声 >>>

議論の中では学年や知識の差などは感じる事がなく、この議論を良くしたいという思いが強かったです。

意見を言うのが得意ではなかったのですが、どんな考えでも議論の対象とし、受け入れてくれたおかげで積極性が身に付き、プロジェクト終了後も日々の生活で意見を言うことに抵抗がなくなりました